

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	Damian Lucantonio		
居室	東1 - 611		

公開E-Mail	授業関連Webページ
damian@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
Goals: Music, Movies and Society 1. To use pop culture (music and movies) to discuss current social topics (in Japan and the world) 2. To develop skills of critical thinking (e.g. Do you agree? Why?) 3. To make academic presentations

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
No textbook. All materials come from the teacher.

【授業内容とその進め方】

Class Content:

1. Topics come from pop culture (music: rock, pop, hip hop, rap; movies: popular, English speaking).
2. Topics are connected to society (e.g. war, terrorism, global warming, AIDS, religion, immigration, child labor)
3. Topics are current (happening now)
4. Listening, speaking, reading and writing are combined.
5. Students work in groups and pairs.
6. Curriculum matches the students' needs and interests.
7. The class is taught in English only. Communication focus.

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

必須項目。

注1：評価方法は、学生が自分の成績評価を確認できるように、（%による表示は必須ではありませんが）極力具体的に示してください。

注2：成績評価の公正さを期するためにも、必ず評価基準を記述してください。評価基準とは、少なくとも単位取得に必要なレベル（可と不可の区別を示す基準）を意味します。より上位のレベルの基準は、必要ならば記述してください。

注3：同一科目を複数の教官が担当する場合、不公平が生じないように、この項目の書き方については、事前に担当者間で十分にご相談の上、記入してくだ

【オフィスアワー：授業相談】

必須項目。

授業内容の理解促進等のために、授業時間外で、学生の質問・相談に応じる時間帯等について記述してください。

（例1）適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取る。

（例2）水曜日 12:00～14:00

（例3）特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

（例）

「もの作り」にたずさわる人にとっては勿論のこと、たとえハードウェアを扱わなくてもシステムの動作原理を理解し、発展させるためには、電子回路の基本を十分理解している必要がある。授業中に一つずつしっかり理解していけば、難しい内容ではない。

【その他】